

技術科年間学習計画（1学年）

担当教諭 根布 駿哉

学期	月	単元・題材名	学習活動
一学期	4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な技術に関心をもち、技術と生活の関係について考える。</li> <li>●技術の進展について関心をもち、意欲的に身近な技術の歴史や進展の様子を調べる。</li> </ul>
	5	1. 情報とわたしたちの生活 2. ものづくりの視点と進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「情報に関する技術」の機能や働き、生活や社会との関連、利用例や役割を踏まえて、今後の学習について関心を持つ</li> <li>●ものづくりの進め方について説明することができる。</li> <li>●木材の特徴を理解することができたか。</li> <li>●木材、金属、プラスチックを対比した特徴の概略を理解する。</li> <li>●生産や廃棄、種類による用途等から、材料の利点と欠点の両方の視点で環境との関わりを考える。</li> </ul>
	6	3. 設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設計の進め方を理解し、製作条件に合った作品の構想図に修正を重ねる。</li> <li>●自分の製作品をじょうぶな構造にすることができる。</li> <li>●自分の製作品に適した材料が選択でき、その理由が説明できる。</li> <li>●材料を加工するときの大まかな手順を説明することができる。</li> <li>●材料に応じた接合の方法を説明することができる。</li> <li>●立体を等角図で書くことができる。</li> </ul>
	7	4. 木材による製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第三角法で製作図を書くことができる。</li> <li>●3DCADなどを使い、製図の決まりを理解し、製作図を完成させることができる。</li> </ul>
	9	5. 製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>●けがきの工具を正しく使用し、正確にけがきができる。</li> <li>●切断用の工具や機器のしくみを知り、効率よく正確に切断できる方法を理解する。</li> <li>●切断用工具・機器の名称と使い方が説明できる。</li> </ul>
二学期	10 ～ 2	6. 製作  7. 材料と加工に関する技術の評価・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●切断用の工具や機器を材料に応じて正しく選択できる。</li> <li>●切断用の工具や機器を使って切断できる。</li> <li>●かんなの構造や切削のしくみを理解する。</li> <li>●穴あけのしくみを理解する。</li> <li>●くぎ接合やねじ接合の説明ができる。</li> <li>●組み立ての状況に応じて、適切に検査と修正ができる。</li> <li>●身の回りにある製品について、設計の意図を主体的に読み取る。</li> <li>●循環型社会の形成のための製品開発や技術開発が進められていることを理解する。</li> <li>●製品の利点や問題点を多面的に評価し、持続可能な社会の形成のために利用されている技術と将来望まれている技術について自分なりに考える。</li> </ul>
	3	8. 情報通信ネットワークの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Webページが表示されるしくみと電子メールの送受信のしくみを説明できる。</li> </ul>

評価の観点と評価の場面

評価の観点	評価の場面
関心・意欲・態度	授業の取り組み・学習ノート
生活を工夫し想像する能力	授業の様子、製作品、実習の様子
生活の技能	製作品、実習の様子
知識・理解	定期考査